

別記様式(第4条関係)

会 議 録

会議の名称	令和 7 年度第 1 回加東市子ども・子育て会議			
開催日時	令和 7 年 6 月 26 日（木） 午後 2 時から			
開催場所	社公民館 2 階 研修室			
議長の氏名（会長 飯野 祐樹） 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】 1 2 人 ・飯野 祐樹 ・福田 美鈴 ・林 智子 ・富森 彩佳 ・浜口 大介 ・大畑 賢志 ・津田 雅世 ・山本 貞江 ・楯本 俊也 ・片山 純子 ・小林 二城 ・坂口 裕美 【欠席委員】 1 人 ・中村 千恵子				
説明のため出席した者の職氏名 健康福祉部 福祉総務課係長 武田 大基 健康課主査 立貝 萌 教育委員会 こども未来部 学校教育課係長 原 英孝 発達サポートセンター参事 藤原 良二				
出席した事務局職員の氏名及びその職名 教育委員会 こども未来部 部長 近澤 孝則 こども教育課長 長谷川 貴子 同付課長 出井 美穂 同副課長 久米 陽介 同係長 金高 将彦				
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 ＜議題＞ ○議事 （１）副会長の選出について（資料①） （２）第 2 期加東市子ども・子育て支援事業計画（令和 6 年度）の進捗状況について （資料②－ 1、②－ 2、②－ 3） ＜会議結果＞ ○議事（１）について 審議の結果、浜口委員を副会長に選出しました。 ○議事（２）について 事務局が資料②－ 1、②－ 2、②－ 3 に基づいて説明を行い、審議しました。				

【会議の経過/発言内容】

1 開会

2 挨拶

3 議事

(1) 副会長の選出について

浜口委員を副会長に選出。

(2) 第2期加東市子ども・子育て支援事業計画（令和6年度）の進捗状況について

事務局から資料②-1、②-2、②-3に基づき一括説明

【質疑応答等】

会長 事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問はございますか。

委員 資料②-2（5）子育て短期支援事業で拠点が11ヶ所あるとのことだが、どこにあるのか。

事務局 県内の養護施設や乳児院と契約してショートステイできる体制をとっている。加東市内にはない。

委員 子どもが体調不良のときに、預かってくれる施設は加東市にあるのか。

事務局 加東市民病院の隣に「かとっこ」という施設があり、定員は4名となっているが、発熱等で通園・通学できない子どもを預かるサービスがある。

委員 加東市民病院の隣は、看護師の子どもを保育する施設であると思っていた。

事務局 出入口は違うが同じ建物に「ゆめっこ」という施設があり、看護師の子どもを保育している。「かとっこ」と「ゆめっこ」は別の保育士が担当している。

委員 資料②-3について、2つ質問、1点指摘がある。1つ目は、ABCの評価がされているが、評価基準は何かあるか。2つ目は、灰色に塗りつぶされている部分はどういう意図か。指摘として「ですます調」となっている記載が一部ある。

事務局 1点目の評価の基準としては、ABCで評価している中の、AとBの差の問題であると思う。目標に対して事業を実施し、事業の進捗として前向きに進行して

いるものをAと評価した。また、事業を実施しているものの令和5年度から継続した形となったものをBと評価している。2点目の評価等が灰色に塗りつぶされているものについては、枝番がついている項目となる。例えば、2-1、2-2のように大項目2を達成するための小項目を設定している際は、大項目2を灰色としている。ご指摘の件については、記載誤りである。

委員 基準については、難しいと思うが明確にしていくべきである。

事務局 第2期加東市子ども・子育て支援事業計画については、評価を数値で判定するようにはなっていないため、3月に策定した第1期加東市子ども計画については、そういう意見を反映した形で、評価については明確となるように改善した。

委員長 評価者は1人ですか。複数名ですか。

事務局 担当課及び主管課のこども教育課の複数名で実施している。

委員長 評価指標として、B（概ね達成できた）に到達しなければ、C（達成できなかった）となり、もう少しで目標が達成できる事業もCとなる。「達成できなかった」の評価指標をC1つにする理由は。

事務局 目標を立てた以上、それに対して取組みがないことは想定していない。事業を実施することが当然と考えているので、「達成できなかった」の評価指標はC1つとしている。

委員 加東市ではないが、自閉症のある子が園に入り、ケーブルテレビでお店屋さんごっこの様子が映ったときに、うまくできず、先生が「あっち行って」と言った様子が記憶に残っている。

委員 「あっち行って」というのは良くない。現在、加東市ではケーブルテレビで放送するときは、加東ケーブルテレビ、園、保護者で確認・協議し、放送している。

委員長 言動の捉え方は個人によって異なるため、注意を払う必要がある。

委員 保育士の適正配置という部分で、「募集はしているが保育士は足りていない」とある。現状でも足りていない中で、来年度から乳児等通園支援事業が始まる。子どもを預けている保護者とすれば不安がある。

事務局 市としては、1点目として保育士が安心して働ける環境作りを大切にしている。

例えば、研修では自園の中での研修だけではなく、園を越えて同じくらいの経験の先生を集めて研修をし、繋がりを大切にしている。

2点目として、今年も6月1日に加東市の園で働きたい方に説明する就職フェアというイベントを6月1日に開催し、15名の方が参加した。こういった活動を継続することで少しでも市内園の保育士が増えるよう努めている。

委員 保育士の人数が足りないと余裕がなくなると思うので、人数確保、新たな事業について、園だけでなく市でもサポートしてくれているのはありがたい。

委員長 保育士の配置について、今年度から1・2歳児の配置人数が、保育士1人につき5人に変更となったと思う。加東市の配置状況は、どうなっているか。

事務局 現時点での配置は、1・2歳児については、保育士1人につき6人となっているが、園によっては保育士1人につき5人で配置できる園もある。保育士1人につき5人で配置できる園については、毎月の運営費を加算して交付している。

委員 4ページの13-3「不登校児童生徒への支援」は十分達成できているとなっているが、16ページの53-4「いじめ、不登校相談」は概ね達成できているとなっている。評価の差はどういった理由か。

事務局 4ページの13-3「不登校児童生徒への支援」は、教育支援センターも3か所に増やしており、十分に取り組めたと評価している。

16ページの53-4「いじめ、不登校相談」については、委員会等を開き、いじめの啓発、問題に対して取り組んではいるが、まだまだ解決できていないところもあるので、十分達成できているとは言えないと思っている。

委員長 16ページの53-4「いじめ、不登校相談」については、努力義務となっている。努力義務が十分達成できていないということは、努めなかったということになり、達成できなかったこととなる。表記に統一性がないから、同じような項目でも印象が異なるのではないかと思う。

事務局 16ページの53-4「いじめ、不登校相談」について、努めますではなく、行っているので表記が誤っている。

委員長 文言の最後の部分が努力義務なのか絶対にしないといけないことなのかというところで評価のポイントが変わってくるので、調整が必要となってくると思う。

委員	学校現場から見ると、連携については、第三者機関であったり、専門家の方等たくさん連携先はあると思うが、学校から広がっていった状況ではある。そのあたりが今後の課題であると思っている。
委員長	自校・自園で解決できる問題と、連携の部分に市としてどのような形で入れるか、連携のネットワークをどう築いていくかを今後検討してほしい。
委員	トライやる・ウィークで子どもが第一希望のところに行けず、行きたくないところに行った。定員があるのはわかるが、本当に行きたいところに行けるような方法を考えてもらえればと思う。
事務局	第一希望のところに行けなかったのは申し訳なく思う。今後子どもたちが行きたいところに行けるよう努めていく。
委員長	決め方のルール等はしっかり決まっていると思うが、どうなっているか。
委員	第一希望に行けない事例はある。地域的に事業所の数・種類に偏りがあることから、数年前から加東市全体で同じ時期にトライやる・ウィークを実施することとした。そのことにより定員の融通がききにくくなった部分はあると感じている。
委員	子どもが小学生のときに将来どういう職業に就きたいかの発表があり、保育士を進めたところ、「保育士の先生はしんどそうだから嫌だ」と言われた。 子どもがそう言うくらい忙しそうにしていた記憶があるようで、保育士って良いこともあるよという魅力発信をどんどんしてもらえればと思う。 また、通園している園に看護師がいないので、不安がある。看護師を配置してくれると親としてはありがたい。 最後に、連絡帳が手書きであり、システム化していただくと保護者も先生も楽になるので検討してほしい。
事務局	加東市内の園では公立の加東みらいこども園に看護師が配置されている状況である。すべての園に看護師が配置されると保護者としては安心されると認識している。どれくらいの期間で配置が可能となるかはお答えできないが、努力していく。 また、連絡帳のシステム化については、便利になる部分もあるとは思いますが、今の連絡帳での個別の対応にも利点があると思う。
委員	連絡帳については、外国人の方もいるため、手書きをやめ、システム化した。

ただ、システム化して良い部分とそうでない部分がある。遅刻欠席の連絡等は、電話で細かく聞き取って話をしたほうが良いと思う。

委員 暑さ対策として首につけるクールリングを置く専用の冷蔵庫を学校に置き、下校時の対策をしていると聞いた。冷蔵庫を1つ置くことは難しいと思うが、コロナウイルスのワクチンのときの冷蔵庫は使えないのかと思うがどうか。

事務局 熱中症に関しては、学校も対策をしている。ミストシャワーを設置し、エアコンも全部屋完備している。登下校に関しては、クールリングも認めているし、日傘も配布している。

事務局 コロナウイルスのワクチンの際の冷凍庫については、マイナス70度の設定となっており、クールリングでの使用は難しい。すでに市内の医療機関に配布し活用していただいている状況である。

委員 ニュースで給食のおかずが唐揚げ1つであるという報道を見た。加東市はどうなっているのか。

事務局 少し前に給食を食べる機会があったが、大人でも十分な量であった。ニュースは配膳の途中であったようで当該学校は訂正していると思う。

委員 母子手帳のアプリであるボシモについての利用状況は。

事務局 登録率としては1歳未満の子の保護者で6割程度である。利用状況については、現状では把握していない。今後検診の際にアンケートを取っていく予定で、ボシモの利便性の改善を図れたらと思っている。国は、アプリで予防接種や検診の管理ができたらという方向で進めていると聞いているが、実施時期は未定である。

委員 休日は、小学校、中学校の運動場が解放されていない。学校で集まって遊びたいと子どもは言っているが、加東市として統一して閉鎖されているのか。

事務局 例えば東条学園であれば、門が施錠されている状態である。過去と比べると、使いにくくなっている状況ではあると思うが、申請すれば、利用できる。

委員長 これで本日の議題が終了しました。たくさんの御意見、御質問をいただきありがとうございました。

4 その他

「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について」事務局から説明。

5 閉会

<会議資料>

- ・ 次第
- ・ 副会長の選出について（資料①）
- ・ 第2期加東市子ども・子育て支援事業計画（令和6年度）の進捗状況について
（資料②-1、②-2、②-3）

<参考資料>

- ・ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

令和7年 8 月 15 日

会長 飯野 祐樹